

MCC雑感2008-4

於：丸紅本社1階 コンチェルト

参加：14名

1) 小林さん逝く

MCC創始者の一人として、先月の例会にもお元気な温顔を見せて居られた小林通利さんが、3月28日突然逝去されました。

僅か1週間前の例会でお会いしたのに、そして6月にはダンスの会の打ち合わせなどをされていたのに・・・あまりにも突然のご逝去で、本当に痛恨、云うべき言葉をしりません。

MCCとしても文字通りの長者を失ってしまったことは、淋しい限りですが、今はただ心からご冥福をお祈りしたいと、全員が思っています。



2) 今月のテーマ-NGN

NTTが盛んに喧伝している“NGN”とは一体どのようなものでしょうか？

曰く100年に一度の大きな変化がやってきます。

夢みた数だけ、暮らしが変わる。

今、NTTグループでは、さまざまな企業とコラボレーションし、次世代ネットワーク（NGN）の構築を進めています。

固定電話網で培った品質・信頼性と、光ブロードバンドを融合させた新しい通信の仕組みへ。

新しい安心が、実現していきます。

さあ、みんなが夢みた数だけ、暮らしが変わる。

NTTグループに、ご期待ください。

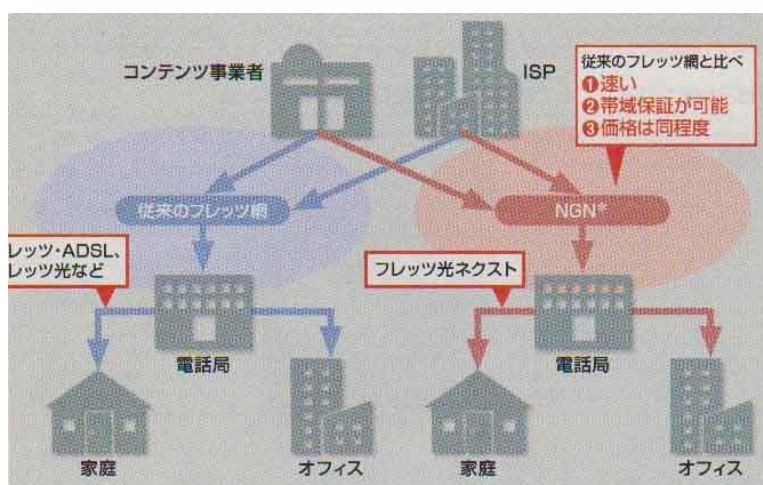
次世代を、カタチに。 NTTグループ

新しい夢を、社会へ。 NGN 次世代ネットワーク

光ファイバー網を使ったNTTの次世代ネットワーク「フレッツ光ネクスト」が3月31日からスタートする。

		2008年度	2009年度～	2010年度
フレッツ・ひかり電話 (IP系) サービス	商用サービス開始	東京、大阪等の一部エリアで開始	東京23区、大阪06エリア、および横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市へ展開 他の政令指定都市へ拡大 県庁所在地級都市へ展開	2010年度末までにBフレッツサービスエリアまで拡大
		イーササービス	東京、大阪等の一部エリアで開始 政令指定都市、県庁所在地等の全国主要都市へ拡大	ユーザニーズに即応したサービス展開
映像配信	地デジIP再送信 ^{※1}	東京、大阪で開始	NGNの展開・ユーザニーズ等を踏まえつつサービス展開	
	VOD/多チャンネル	NGNの展開に合わせて提供 ^{※2}		

※1 放送事業者様からの再送信同意を前提とします。 ※2 既存IP網でも提供



NTTグループは、2002年4月、電話交換機への新規の投資を原則停止すると発表していたのでした。これが何を意味するのでしょうか？

現在の固定電話は、全国津々浦々まで張り巡らされた伝送路と交換機で成り立っており、電話サービスは、ライフラインとして不可欠な全国均一のサービス、いわゆる「ユニバーサルサービス」として提供されている。

今使われている交換機が寿命を迎えた時、これまでのような固定電話網はその役割を終えることになるのです。

交換機の耐用年数は6年～10年と云われており、この意味でも2008年3月末にNTTはNGNの実現化を発表せざるを得ないという所に追い込まれていたわけ・・・つまりはNGNの招来は歴史的必然なのです。

MCCはNTTが行なっている下記のショールーム見学を5月15日に申し込み、受諾されていますので、次回にはもう少し詳細に理解出来るかも！？



- 見学お申込み
- トピックス
- NOTEバーチャルツアー
- 展示一覧
- NGNとは?
- ガイドブックダウンロード
- アクセス
- お問い合わせ

※NOTEバーチャルツアー、展示一覧、ガイドブックダウンロードは、4月16日(水)に公開予定です。

NTTグループショールーム「NOTE」

NGNで実現する多様なサービスをわかりやすく、より具体的に体験できる空間、それがNTTグループショールーム「NOTE(NTT Open Telecom Experience)」です。次世代ネットワークの未来像を自由に描いてもらうために、またより多くの人々に新たなコミュニケーションのページを開いてもらうことを願って、常に最新の情報を発信してまいります。



What's New

■2008年3月31日(月)
NTTグループショールーム「NOTE」リニューアルオープンのお知らせ

[トピックス一覧](#)

3) 田中弘文さんのお手並み

静心書学会展の師範たる、弘文さんの書が銀座メルサ7Fで展示された。

明代の朱子学者、陳献章の五言絶句3首。

少雨空齋を閉ざし 青青たる竹諧に映ず 道人終日静かに 一枕懐い無きに到る

山中一夜の秋 老屋居然として別る 丈人酒を飲まず 共に座して名月を見る

桃花東岸を被い 江水日々深し 君に贈るめに言無し 亦花水の吟有り

尚念のため申し添えますが、右の画像は矢野ドクターが当日デジカメで撮影し、丹念な画像処理が施された結果の作品です。

弘文さんの書は勿論立派なお手並みですが、これをデジタル画像として、このように保存するを得た矢野さんの技術もまた流石というべきものと思います。

尚更に付け加えれば、今月は弘文さんに「日帰り旅行記録ー富岡製糸」見事なフォトストーリー作品。矢野さんに「醍醐寺の枝垂れ桜」4枚の合成写真。

とそれぞれに傑作が開示された。



4) ヘルベルト・フォン・カラヤン

2008年4月5日はカラヤンの生誕100年に当たる。

20世紀最大の指揮者として、ベルリン・フィルに君臨し、日本にも12回の訪問・演奏をしてくれたので、今日我々がクラシック音楽に親しめるようになったのは、この人に負うものと言っても些かも過言ではない。

またカラヤンは単に指揮者であるだけでなく、音楽演奏を音と画像で記録しようとした最初の音楽家であり、彼が残した1950年代～70年代の膨大な35mmフィルムが、ハイビジョンに再現されてテレビに放映された。



もう一つベルリン・フィルがカラヤン100年を記念してチャイコフスキーの「悲愴」を演奏した時の指揮者は小沢征爾だった！ むべなるかな！！
天下のベルリン・フィルのメンバーも、聴衆も小沢をカラヤンの一番弟子として認知したのである！！

演奏終了後万雷の拍手の中で、小沢が楽団員たちに両手を挙げて拍手し、その後で両手の人差し指で天を指し示したのは、すべてがカラヤンのお陰であることを示し、同時にカラヤンに今の演奏を聴いて貰っているということの表現であったのだ。

5) 新しいプリンター

パソコンのトラブルー22でご紹介したように、私は大ちゃんの新鋭カメラをいじって大トラブルに見舞われた。

この顛末の詳細は重複を避けて、ここには書かないが、結果的に5年振りにプリンターの買換えをした。

新鋭機はキャノンMP610、正直云って惚れ惚れとするような名機である。何故今までHP（ヒューレット・パカード）に固執していたのか、我乍ら情けなくなる・・・それだけ今回の新鋭機は優れた性能なのです。

諸兄くれぐれもお忘れなきよう、ITの世界は日進月歩です。

自分の持っているマシンを大切に使うばかりが能ではないのです。



—以上—